



地域移行通信

第48号 令和3年1月発行

世田谷区 自立支援協議会 地域移行部会

地域移行だよ!
全員集合

この通信は、部会の様子をお伝えし、関連する機関のみなさまとの情報共有をめざして発行しています。

〈世田谷区自立支援協議会 地域移行部会〉

精神科病院の入院患者等の退院促進に向け、関係機関の情報交換や課題への対応策等の検討を行っています。

今回は、令和2年度第1回地域移行部会の開催報告についてお送りします。

令和2年度第1回 地域移行部会を開催しました



『誰でも』地域移行部会（烏山エリア編）

日 時：令和2年11月18日（水）午後

場 所：烏山区民会館集会室

参加人数：29名（病院スタッフ、地域支援者、行政や区民後見人等）
＋地域移行部会メンバー

令和2年度第1回目の『誰でも』地域移行部会は、烏山エリア自立支援協議会と共同で開催しました。今回の地域移行部会は、退院後の地域に着目して「住まい」の確保から「居場所」をはじめとした暮らしの支援、地域の「つながり」といったテーマを軸に支援者の連携を深める機会としました。

世田谷区で今年度より実施している、世田谷区精神科病院に長期入院している区民への訪問支援事業についてご報告を行いました。

また、烏山エリア自立支援協議会での取り組みについてご紹介、ご説明をいただきました。

さらには、烏山地域に退院したい希望がある長期入院中の方を想定した模擬事例を元にグループワークを行いました。



グループワーク



病院スタッフ、地域支援者や区民後見人等で構成する5～6人ずつ、7グループに分かれ、グループワークを行いました。

◎事例について

烏山地域に退院したい希望がある長期入院中の方を想定し作成した模擬事例について、「住まい」の確保から「居場所」をはじめとした暮らしの支援、地域の「つながり」といったテーマを軸に地域に繋ぐ支援者、地域で支える支援者がそれぞれの立場で、地域移行、地域生活の継続に向けて自分が担当だったらなにができるか等について、意見を出し合い、話し合い、以下のような意見が挙がりました。

○「支援者の感じた本人の強み」として、以下の主な内容が挙げられました。

- ・元々土地勘があり、すぐ馴染む気がする
- ・退院をしたい意欲がある
- ・ADLに問題がないので部屋を探しやすい
- ・趣味、好きなことがある

○「支援者の感じた烏山地域の強み」として、以下の主な内容が挙げられました。

- ・烏山地域の不動産屋さんの障害への理解が有る
- ・郵便局、商店等の方々も本人を見守っていて安心。地域で受け入れていただいている
- ・他の地域と比べ家賃が安い
- ・居場所となる喫茶店などがある
- ・地域住民の受け入れ
- ・共生感が高い

○「自分が担当だったら何ができるか」については、以下の主な内容が挙げられました。

- (地域へ繋ぐ支援者からの意見)
- ・地域の不動産屋さん、物件探しに同行する
 - ・理解のある不動産店の紹介
 - ・退院に向けて本人と烏山地域へ外出同行
 - ・地域のイベントへの参加

- (地域で支える支援者からの意見)
- ・理解のある不動産店をご案内できる
 - ・保証人をどうするか等 現実的なアドバイス
 - ・当事者グループ（社協）への参加を促し、情報提供
 - ・精神統合失調当事者サロンの紹介
 - ・住まいの契約を後見人が契約者として行う
 - ・自宅を定期的に訪問し、つながりを見つける





◎グループワーク発表について

グループワーク終了後、各グループの代表者にどのような意見交換ができたか発表していただき、以下のような内容が挙げられました。

○烏山地域の強みが多くでた。例えば不動産屋の理解があるということや、精神障害のある方が集まっている場所であるということ。これらは大事にした方が良く、強みであると感じた。

公的なサービス以外の商店街団体等へのつながりが本人の今後の安定につながるということや、不動産屋へのマッチングが不可能ではないという言葉が印象に残った。

病院のワーカーからの意見で共生感が高いという意見があったのが印象に残った。別の地域と比べると、精神障害者の方を受け入れた生活スタイルが成り立っていると感じる。そうしたことが烏山地域が住みやすいと感じる一つの要因になっているのではという意見があった。こうした意見は、地域の視点からはなかなか見えないものであり、烏山エリアの強みと感じた。

○強みがたくさんでた。烏山地域は住みやすいということ。（地価が安い、貸してくれる大家さんが多い等）その中で印象的だったのは、「まちで当事者の方に来て挨拶されるとすごく嬉しい」という意見。民生委員の方などが「いい意味で目が慣れてる」と言っているのを聞き、少し気になる言動や行動があっても受け止められる、そういう土壌があるというのは以前から感じていたところであるが、まさにそうした意見が挙がったのは印象的で強みであると感じた。病院も事業所もあり、いざという時のアクセスが住みやすさにつながる感じた。

一方で課題として、地域移行から地域定着となった時に、服薬管理や定期的な通院など安定的に本人を気にかける人が増えていくために地域のつながりが必要という意見が出た。



今回のグループワークでは、病院のスタッフ、地域の支援者に加え、区民後見人の方にもご参加いただきました。地域で暮らされる方の視点も加わり、様々な立場から具体的により深い意見交換を行うことができました。また、烏山地域に焦点を当てて行ったことで、改めて烏山地域の強みなど地域の特性を知ることができました。

Q：今回の地域移行部会にご参加いただいた理由は何ですか？

理由	回答数
①地域移行・地域定着に関心があるため	13
②地域移行部会のアクションプランに関心があるため	5
③烏山地域支援者との関係づくりのため	11
④地域支援者との連携のため	10
⑤勉強のため	9
⑥参加するよう指示があったため	3
⑦その他	1

⑦その他（内容）：どういう居場所が求められているのかを知りたかったため。

Q：今回の地域移行部会はいかがだったでしょうか？

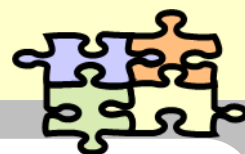
	回答数
①とても良かった	19
②良かった	6

・烏山地域に関する情報や、支援をしている方々の想いを感じることができ、より身近に、相談しやすくなりました。

- ・烏山エリアの資源について、より詳しく知ることができました。
- ・区の事業説明による導入から、グループワークへの解説、心がまえと綺麗な流れを作ってくださったので、何を考え議論すればよいのかがはっきりつかめ、大変勉強になりました。様々な職種の皆様と、多くの情報を共有できたので、今後の業務に活かしていきたいと思います。
- ・烏山地域の可能性を改めて学ぶ事が出来た。
- ・烏山地域のことがあらためて理解できた。区民後見人のことを皆さんに知っていただいた。

Q：今回の地域移行部会において、得られたもの、理解が深まったもの、今後の業務において活かそうこと等ありましたか？

- ・住む場所の重要性をあらためて認識させられました。受け入れていくために様々な試みや行動を起こされていることを知り、是非利用していきたいと思った。
- ・当時者会やフリースペースなど入院中から当事者の方にお伝えしたい情報が得られました。
- ・連携には、顔の見える場でお互いをよく知ることが大切だと改めて感じました。
- ・「移行」と「定着」は、常に一緒に考えていくべきだと思いました。



地域移行部会で大切にしていることは、精神科病院を退院して、世田谷区で自分らしく生活することができるために、何ができるか？どうしたら良いか？を具体的に考え、自分の言葉で話をして、知恵を出し合うことです。

引き続き、精神科病院に入院している方への退院促進に向けた支援のあり方や課題を検討します。今後も皆様のご参加をお待ちしております。また、取り上げたいテーマや事例などありましたら、下記までご連絡ください。

【事務局】

世田谷区障害福祉部障害保健福祉課
世田谷保健所健康推進課

電話 03(5432)2247
03(5432)2947